

# 平成21年度「株式学習ゲーム」の実施状況と 参加校からのアンケート調査結果について

日本証券業協会  
株式会社東京証券取引所グループ

「株式学習ゲーム」は、中学生・高校生を主な対象として、株式の模擬売買を通じて現実の生きた経済や市場の動きを身近に感じながら、経済の動きや社会の仕組みなどについて体験的に学習するプログラムとして、日本証券業協会、東京証券取引所グループが学校向けに提供している教材である。

## 1. 実施状況

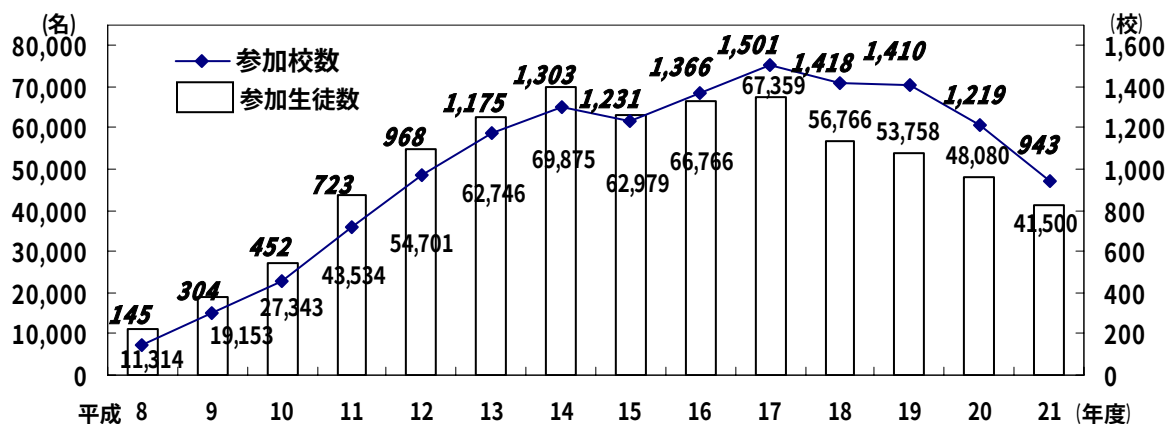
### (1) 参加校数・参加生徒数など

平成21年度は、他の学習教材との競合や中学校での新学習指導要領の移行期間入りに伴う実施時数の確保難などにより、合計参加校数は前年度（1,219校）より減少し、全国で943校、41,500人の参加となった。

(第1表) 参加校数・参加生徒数（春季・秋季・冬季別）

| 実施期間                      | 参加方式      | 参加校数(校) | 参加生徒数(名) |
|---------------------------|-----------|---------|----------|
| 春 季<br>(平成21年4月13日～7月17日) | マークシート方式  | 66      | 3,321    |
|                           | インターネット方式 | 176     | 7,377    |
|                           | (両方式計)    | 242     | 10,698   |
| 秋 季<br>(平成21年9月1日～12月18日) | マークシート方式  | 106     | 6,190    |
|                           | インターネット方式 | 334     | 15,312   |
|                           | (両方式計)    | 440     | 21,502   |
| 冬 季<br>(平成22年1月12日～2月26日) | マークシート方式  | 56      | 2,585    |
|                           | インターネット方式 | 205     | 6,715    |
|                           | (両方式計)    | 261     | 9,300    |
| 年間合計                      | マークシート方式  | 228     | 12,096   |
|                           | インターネット方式 | 715     | 29,404   |
| 総 合 計                     | (両方式合計)   | 943     | 41,500   |

(第1図) 参加校数・参加生徒数の推移



※1 平成14年度以降はインターネット方式が併行導入されたため、従来方式のマークシート方式と合算した数字となっている。

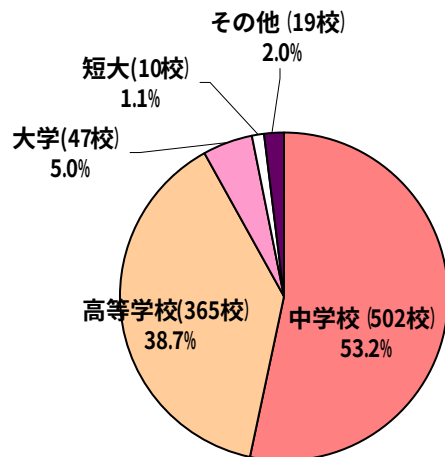
※2 平成17年度に複数学期にまたがって参加した学校の集計方法について見直しを行った結果、平成14～16年度の数字が一部修正となった。

参加校（943 校）の内訳は、中学校が 53.2%（502 校）と、過半数を占め、次いで高等学校 38.7%（365 校）、大学 5.0%（47 校）、その他の学校等が 3.1%（29 校）だった。ちなみに、前年度の参加校数（1,219 校）の内訳は、中学校が 65.8%（802 校）、高等学校 27.4%（334 校）、大学 4.3%（52 校）、その他の学校等が 2.5%（31 校）であった。

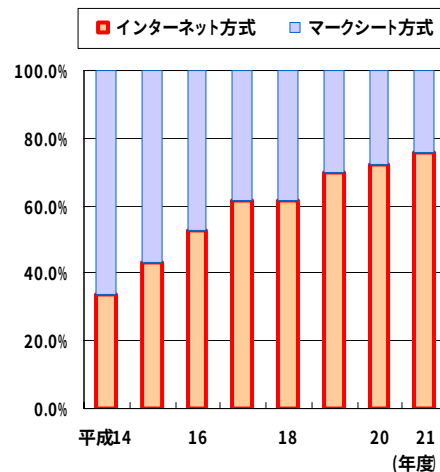
また、期間別の参加校数の内訳は、春季 25.7%（242 校）、秋季 46.6%（440 校）、冬季 27.7%（261 校）となっている。

なお、平成 14 年度より導入したインターネット方式による参加比率は 75.8%（全参加校 943 校のうち 715 校）となり、年々、増加傾向（昨年度 71.9%）にある。

（第 2 図）参加校（943 校）の内訳



（第 3 図）方式別の参加比率の推移



## （2）売上の傾向

平成 21 年度（3 期間合計）において、売買回数の最も多かった銘柄は、任天堂だった。以下、2 位ソニー、3 位ソフトバンク、4 位トヨタ自動車、5 位アサヒビール、6 位ニトリ、7 位ローソン、8 位ドン・キホーテ、9 位ファーストリテイリング、10 位ヤフーの順となった。

例年と同様に、ゲーム関連会社や携帯電話会社などのほか、株式学習ゲームの実施期間中に新聞やテレビのニュース等で話題となった企業の売買回数が多かった。

（第 2 表）売買回数の多い銘柄一覧（過去 3 年分）

| 順位  | 平成19年度  | 平成20年度 | 平成21年度      |
|-----|---------|--------|-------------|
| 1位  | 任天堂     | 任天堂    | 任天堂         |
| 2位  | ソニー     | ソニー    | ソニー         |
| 3位  | トヨタ自動車  | ソフトバンク | ソフトバンク      |
| 4位  | ヤマダ電機   | ローソン   | トヨタ自動車      |
| 5位  | ドン・キホーテ | アサヒビール | アサヒビール      |
| 6位  | ソフトバンク  | ヤフー    | ニトリ         |
| 7位  | KDDI    | トヨタ自動車 | ローソン        |
| 8位  | ヤフー     | カプコン   | ドン・キホーテ     |
| 9位  | 本田技研工業  | NTTドコモ | ファーストリテイリング |
| 10位 | キヤノン    | コナミ    | ヤフー         |

## 2. アンケート調査結果

毎年、株式学習ゲームの終了後、参加した学校の先生方を対象にアンケート調査を実施している。平成21年度は、297校（中学校143校、高等学校128校、大学その他26校）から回答を得た。回答内容等の詳細については、以下のとおりである。

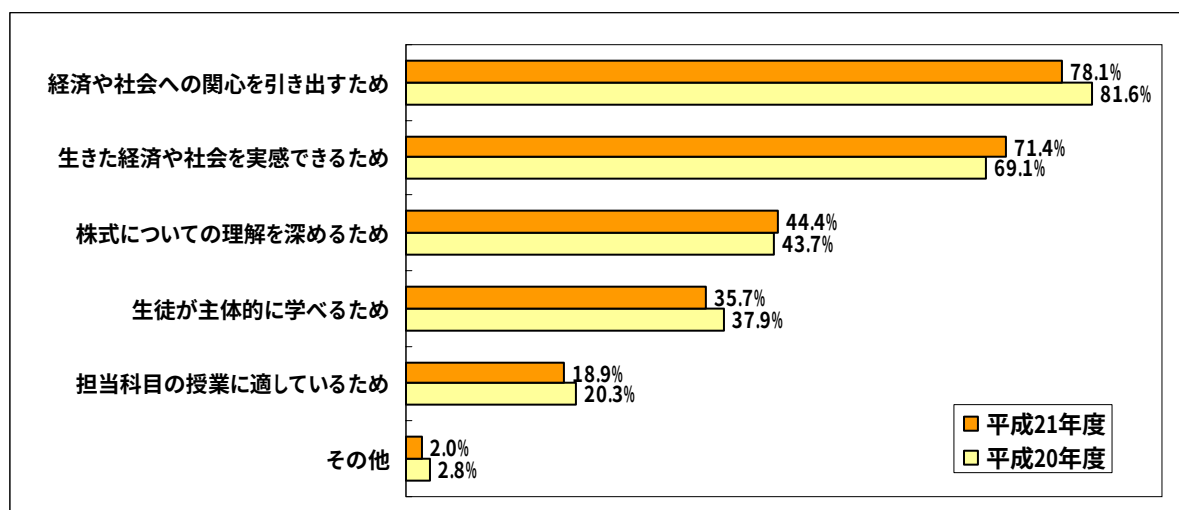
### （1）株式学習ゲームを教材として導入した理由について（複数回答）

本教材を導入した理由について尋ねたところ、「経済や社会への関心を引き出すため」という回答が78.1%（232校）と最も多かった。教科書だけではなく、実際の経済や社会の動きに目を向けさせることで生徒の興味・関心を引き出そうと考えている先生が多いようである。

次いで、「生きた経済や社会を実感できるため」71.4%（212校）、「株式について理解を深めるため」44.4%（132校）、「生徒が主体的に学べるため」35.7%（106校）、「担当科目の授業に適しているため」18.9%（56校）などが挙げられた。

そのほかでは、「金融知識を習得するため」、「総合的な学習の時間の題材として適していると考えたため」といった回答も寄せられた。

（第4図）教材として導入した理由



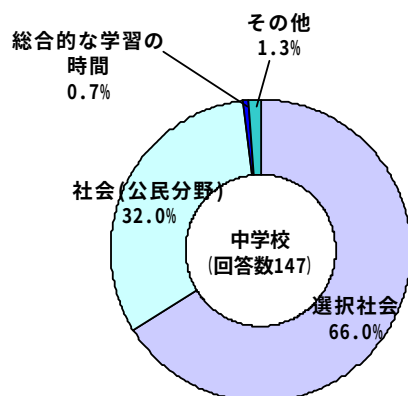
### （2）実施した授業科目について

実施した授業科目について尋ねたところ、中学校（回答数147※）では、「選択社会」66.0%（同97）、「社会（公民分野）」32.0%（同47）などが多かった。

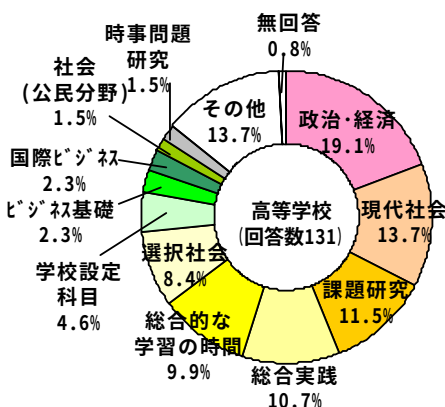
一方、高等学校（回答数131※）では、「政治・経済」の授業での実施が19.1%（同25）と最も多く、これに「現代社会」13.7%（同18）、「課題研究」11.5%（同15）、「総合実践」10.7%（同14）、「総合的な学習の時間」9.9%（同13）、「選択社会」8.4%（同11）などが続いた。

中学校、高等学校とも授業科目については、ほぼ例年と同じような回答内容だった。

（第5図）株式学習ゲームを実施した授業科目



※143校のうち、4校で複数科目の回答あり。



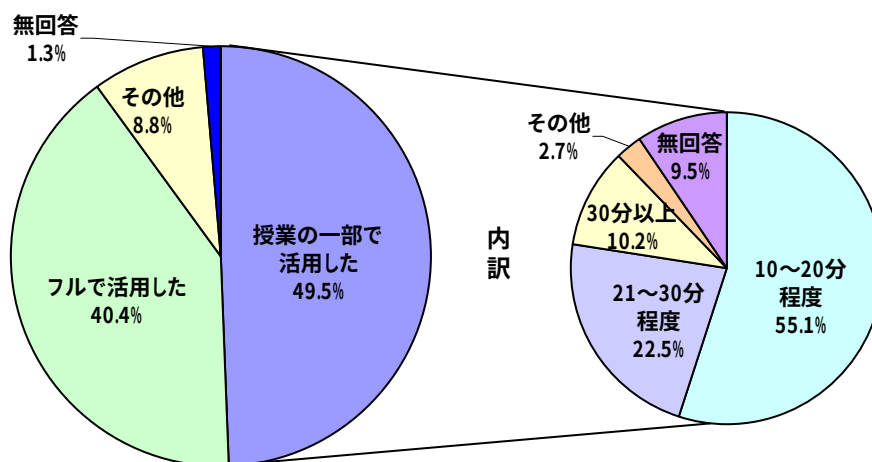
※128校のうち、3校で複数科目の回答あり。

### (3) 株式学習ゲームの活用時間と取引頻度について

一回の授業時間のうち、本教材をどの程度活用したかを尋ねたところ、「授業時間の一部で活用した」との回答が最も多く 49.5 % (147 校)、これに「授業時間を全て活用した」との回答が 40.4 % (120 校) と続いた。そのほかの回答として「課外活動として活用した」、「特別講座（夏休み）で活用した」、「株式に関する概略とゲームのルール説明以外は休み時間や放課後など生徒の自主的な活動に任せた」などがあった。

また、取引頻度については、「週に一回程度」が 60.3% (179 校) と最も多く、次いで「二週間に一回程度」が 19.9% (59 校)、「週に二回程度」が 4.0 % (12 校)、「月に一回程度」が 3.0% (9 校)、「毎日」が 1.0% (3 校) あった。

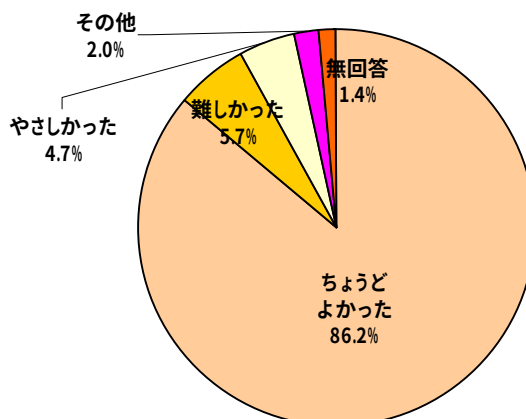
(第 6 図) 株式学習ゲームの活用時間



### (4) 株式学習ゲームの難易度について

本教材の難易度について尋ねたところ、「ちょうどよかった」と回答した学校が 86.2% (256 校) と最も多かったが、「難しかった」と答えた学校も 5.7% (17 校) あった。その理由として「株価の予想が難しい」(3 校) や「株式の情報を収集することが困難、情報源が少ない」(2 校)、「売買単位などの仕組みが難しい」(2 校) といったことが挙げられた。また、「やさしかった」と答えた学校は 4.7% (14 校) あった。

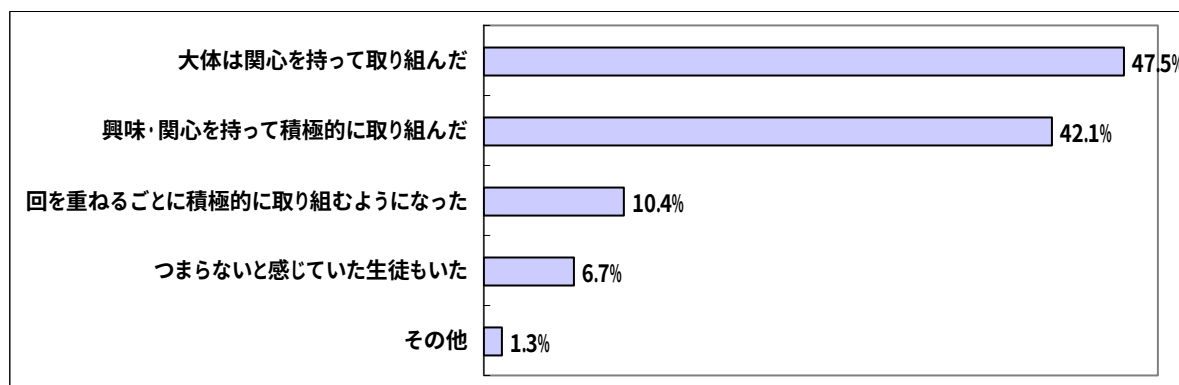
(第 7 図) 本教材の難易度について



### (5) 生徒の取り組み姿勢について（複数回答）

生徒の取り組み姿勢について尋ねたところ、最も多かったのは「大体は関心を持って取り組んだ」という回答で 47.5% (141 校) だった。以下、「興味・関心を持って積極的に取り組んだ」42.1% (125 校)、「回を重ねるごとに積極的に取り組むようになった」10.4% (31 校)、「つまらないと感じていた生徒もいた」6.7% (20 校) などの順だった。

(第 8 図) 生徒の取り組み姿勢について



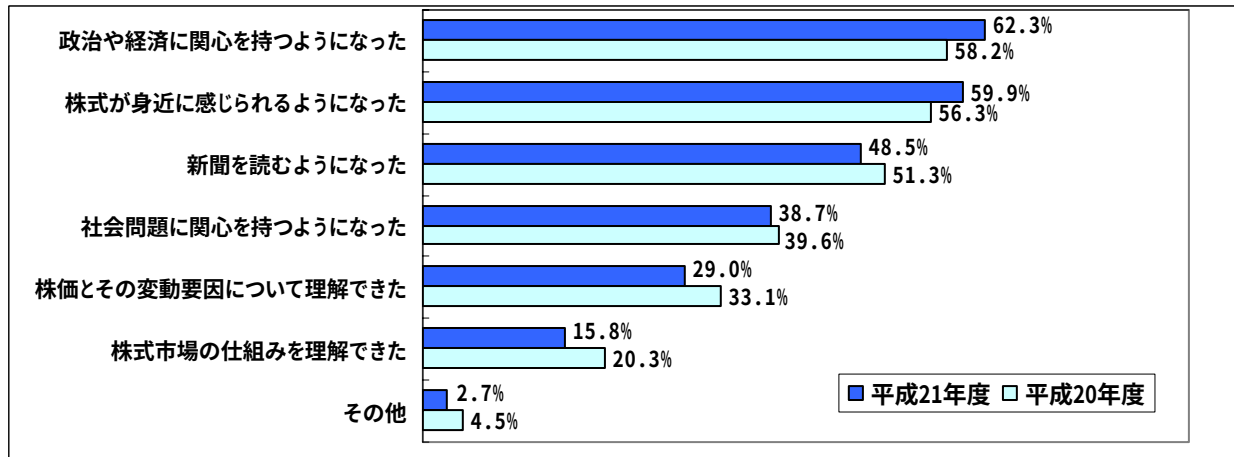
## （６）株式学習ゲームによる学習効果について（複数回答）

本教材を授業に導入して、どのような学習効果があったかについて尋ねたところ、「政治や経済に関心を持つようになった」との回答が62.3%（185校）と最も多く、以下、「株式が身近に感じられるようになった」59.9%（178校）、「新聞（株式欄、政治・経済面、社会面）を読むようになった」48.5%（144校）と続いた。

また、「社会問題に関心を持つようになった」38.7%（115校）、「株価とその変動要因について理解できた」29.0%（86校）、「株式市場の仕組みを理解できた」15.8%（47校）、などの回答があった。

そのほか、「プレゼンテーションの練習になった」、「興味を持った親と家庭で会話するようになった」といった回答も寄せられた。

（第9図）株式学習ゲームによる学習効果について



## （７）提供された教材以外に利用した教材について

本教材を使った授業を進める上で、先生方が独自に利用した資料について尋ねたところ、「新聞（記事の抜粋を含む）」が71校、「インターネット（Yahoo!ファイナンス、各新聞社、金融関連、各企業）のサイトなど」が27校、「会社四季報・会社情報」が10校であった。

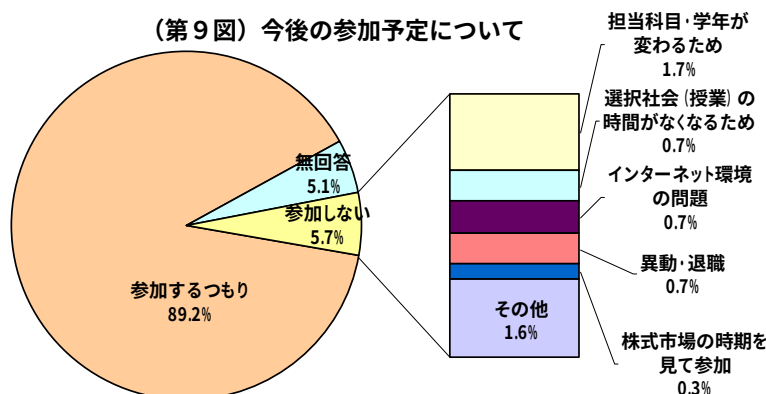
そのほか、「業界地図」、「最初に読みたい株の教科書」（朝日新聞社）、『13歳から始める「株とお金」のはなし』（森永卓郎監修）などの市販の経済・株式の書籍や経済雑誌、DVD教材「シェア先生と楽しく学ぼう」（東京証券取引所）、「10代から学ぶパーソナルファイナンス（日本FP協会）」などが挙げられた。また、経済や株式についてのテレビ番組（「ガイアの夜明け」・「がちりマンデー」など）を録画して生徒に視聴させた学校もあった。

## （８）今後の参加予定について

今後の参加予定について尋ねたところ、今後も「参加するつもり」と回答した学校が89.2%（265校）に及んだ。「参加するつもり」と回答した学校からは、「株価だけではなく、広く経済について学ぶことのできる良い教材だと思う」、「生徒たちが興味関心を持って取り組み、効果の高い教材だと思う」、「ガイダンスビデオやガイドブックなどの資料があって取り組みがスムーズにできた」、「ルールがシンプルでわかりやすいため、生徒たちの食いつきがよく楽しそうだった。また、5月からの開始だったので、クラス内での関係作りにも役立ったようだ」などの感想が寄せられた。

一方、「参加しない」と回答した学校は5.7%（17校）あり、その理由は「担当科目・学年が変わるため」1.7%（5校）、「学習指導要領の改訂で選択授業の時間がなくなるため」、「パソコン教室がつかえないため」、「株式市場の時期を見て参加」などが挙げられた。

（第9図）今後の参加予定について



**参考：以下は、アンケート調査と併せて、参加校の先生方から提出していただいた株式学習ゲームについての意見や感想等の概要である。**

## 1. 先生方から見た生徒の反応、感想等（自由記入：297 校中 162 校より回答を得た）

### 1. 全体的な生徒の反応、感想等

先生方から見た生徒の反応についての全体的な感想としては、「自分が職に就く時に必要なことだから、もっと社会のことについて知りたい」、「この学習を通して、社会や経済・企業は全てつながっていることがわかった。日本国内だけでなく、外国の影響も受けることには驚いた」、「自分の興味ある会社を詳しく知り、どんな社会貢献をしているかなど分かった。ここで学んだ知識を社会人になって活かせばよい」、「日常的に経済・社会に目を向けるようになった生徒が多数であった。社会に目を向けることがこの授業の目的であるため、目的は達成できたといえる」などの回答が寄せられた。生徒たちは本教材を通じて、単に株価の動きに注目するだけではなく、経済・社会・企業についても身近に感じ、興味・関心を持って学習した様子が見える。

（第 i 表）

| 先生方から見た全体的な生徒の反応、感想等<br>(原文を要約後、区分)    | 回答数<br>(校) | 学校別 回答数内訳 |    |     |
|----------------------------------------|------------|-----------|----|-----|
|                                        |            | 中学        | 高校 | 大学他 |
| 新聞やニュースに関心を持つようになった                    | 62         | 29        | 28 | 5   |
| 楽しく取り組むことができた                          | 50         | 24        | 21 | 5   |
| 苦労した・難しかった                             | 38         | 12        | 23 | 3   |
| 企業について興味・関心を持つようになった<br>(就職活動に役立つと思った) | 21         | 5         | 11 | 5   |
| 良い体験ができた                               | 20         | 8         | 11 | 1   |
| 結果や順位が出るのが楽しみだった                       | 15         | 8         | 6  | 1   |
| もっとやりたかった (またやってみたい)                   | 12         | 6         | 3  | 3   |
| 実際に株式の取引をしているようだった                     | 12         | 5         | 6  | 1   |
| みんなと協力してできた                            | 9          | 5         | 2  | 2   |

### 2. 株式についての生徒の反応、感想等

先生方は当初、生徒が株式投資をゲーム感覚でとらえてしまうのではないかと懸念を持っていたが、実際に参加した生徒からは「株式を売買する場合は遊びとして試すのではなく、まじめに良く考えてやらなければいけないと感じた」といった感想が寄せられ、生徒たちが単なるゲーム感覚で参加しているのではなく、真剣に取り組んでいる様子が見える。

また、「社会や経済情勢が身近に感じられ、より深く考えていくきっかけとなった」、「自分は将来、株式投資をするかは分らないが、この教材のおかげで、容易に興味本位で株式の世界に飛び込むなんていうことはありえなくなり、そして会社・企業における株式の価値というものが今回の授業で身についたのよかった」といった感想も生徒から寄せられており、株式や企業活動に対する理解が深まっている状況も見受けられる。

（第 ii 表）

| 先生方から見た株式についての生徒の反応、感想等<br>(原文を要約後、区分) | 回答数(校) | 学校別 回答数内訳 |    |     |
|----------------------------------------|--------|-----------|----|-----|
|                                        |        | 中学        | 高校 | 大学他 |
| 株式などの仕組みが理解できた                         | 42     | 20        | 17 | 5   |
| 株式が身近に感じられた                            | 20     | 9         | 7  | 4   |
| 株価の予測は難しい                              | 17     | 7         | 7  | 3   |
| 株式投資で利益を上げることは難しい                      | 10     | 4         | 3  | 3   |
| 将来、株式投資はしない                            | 9      | 4         | 5  | 0   |
| 株式投資はこわい                               | 8      | 3         | 4  | 1   |
| 将来、実際に株式投資をしてみたい                       | 7      | 5         | 2  | 0   |
| 株式投資には知識や情報が必要                         | 7      | 1         | 4  | 2   |



## II. 先生方から寄せられた感想等（自由記入：297 校中 157 校より回答を得た）

### 1. 授業に取り入れた効果など

寄せられた感想では、「生徒たちが興味関心を持って取り組み、効果の高い教材だと思う。今後も継続して取り組んでいきたい」、「ガイダンスビデオやガイドブックなどの資料があって取り組みがスムーズにできた」「本当の意味での株式の理解は、実社会に出て会社の一員となって働き、経済活動を行う中で会得していくことになるものと考えている。自分の労働が広く経済活動に結びつくことを重視し、指導してきた。このほかにも特設授業として、クレジットカード申込シミュレーションやクレジットの仕組みなどについて学習を取り入れ、消費者としてだまされないことを念頭に社会人としての経済基礎を伝えている。この株式学習ゲームを学び、広い意味で、経済活動の仕組みを理解して、実社会での生活に生かしてもらえれば大きな効果となると思う」というような回答が寄せられた。本教材は、現実の株価の動きを身近に感じられるため、生徒が生きた経済の動きや社会の仕組みに興味・関心を持って学習することができる授業となっているようである。

一方、「選択教科の教材として利用したが、今後選択教科がなくなっていくことを考えるともっと短いサイクルで結果が出るようなシステムになるとよいと思う」、「やはり何を基準に株式を購入するのかの指導が難しかった。どうしてもマネーゲームのようになってしまいうところがあるので、長期的な視点で購入することの大切さも説く必要があったと考えている」という意見も寄せられた。

（授業に取り入れたことによる効果・感想など）

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ・今後も継続して活用していきたい      | 22 校 |
| ・経済への興味・関心を引き出すのに役立った | 11 校 |
| ・生徒が意欲的だった            | 9 校  |
| ・使い勝手がよかった            | 9 校  |
| ・楽しみながら学習できた          | 6 校  |

（今後の課題点など）

- |                               |     |
|-------------------------------|-----|
| ・授業時間数、回数不足                   | 8 校 |
| ・指導が難しかった                     | 7 校 |
| ・指導要領が変更になり、今後株式学習ゲームに取り組みづらい | 6 校 |
| ・相場が停滞気味で興味を持たせるのが難しい         | 3 校 |
| ・短期売買になってしまう                  | 3 校 |
| ・インターネット障害が起きてしまった            | 2 校 |
| ・生徒の興味を持続させるのが難しかった           | 2 校 |

### 2. 授業での工夫やアレンジなど

工夫している点やアレンジしている点については、「独自にワークシートを作成し提出させている」という意見が最も多く 34 校あり、売買理由や購入した企業のニュース・最近のニュースなどを調べさせて記入させるといった学校が多いようである。また、企業研究を行ったと答えた学校では、「企業の活動やCSR、業績等を調べてレポートにさせた」や「就職する生徒が多いのでできるだけ関係の深い企業を調べさせた」といった意見もあった。プレゼンテーションを行ったと答えた学校では、「株価の上下に関係したニュースを調べさせ発表させた」や「どうして銘柄を選択したのか、グループの代表者が全員の前でプレゼンを行い、グループで選んだ会社のアピールを行った」といった学校があった。また、生徒の興味・関心を高めるため、取引結果や順位を廊下等に掲示したり、教師も参加し順位を競ったなどといった学校もあった。

（第iii表）

| 工夫している点・アレンジしている点等<br>（原文を要約後、区分） | 回答数(校) | 学校別 回答数内訳 |    |     |
|-----------------------------------|--------|-----------|----|-----|
|                                   |        | 中学        | 高校 | 大学他 |
| 独自のワークシートを作成し、提出させた               | 34     | 10        | 21 | 3   |
| 時事問題（新聞、テレビのニュース、インターネット）を取り上げた   | 32     | 9         | 21 | 2   |
| 企業研究（CSR・ニュース・企業見学など）             | 24     | 2         | 15 | 7   |
| プレゼンテーションを行う                      | 14     | 5         | 7  | 2   |
| 取引結果や順位を廊下等に掲示した                  | 8      | 7         | 1  | 0   |
| 教師も株式学習ゲームに参加した                   | 4      | 1         | 2  | 1   |
| 売買の際にテーマを決めて行った                   | 4      | 2         | 2  | 0   |
| 証券取引所の見学等                         | 3      | 0         | 3  | 0   |

以上